

第18回 日本家庭医療学会

平成15年11月15日(土)

積極的なカルテ開示

オープンカルテによる
患者様参加型医療の試み

用賀アーバンクリニック

田中勝巳_

背景

オープンカルテとは、患者様の求めに応じた開示ではなく、「医療者側から積極的に診療情報を提供すること」と定義し、用賀アーバンクリニックにおいては開院以来実践してきた。

紙カルテ

すべての患者様に対し電子カルテの診療録を、毎回紙に印刷し配布

インターネットカルテ

希望者はインターネットでも電子カルテが閲覧可能

目的

当院の「オープンカルテ」が患者様に実際どのように浸透し、利用され、役立っているかを明らかにする。

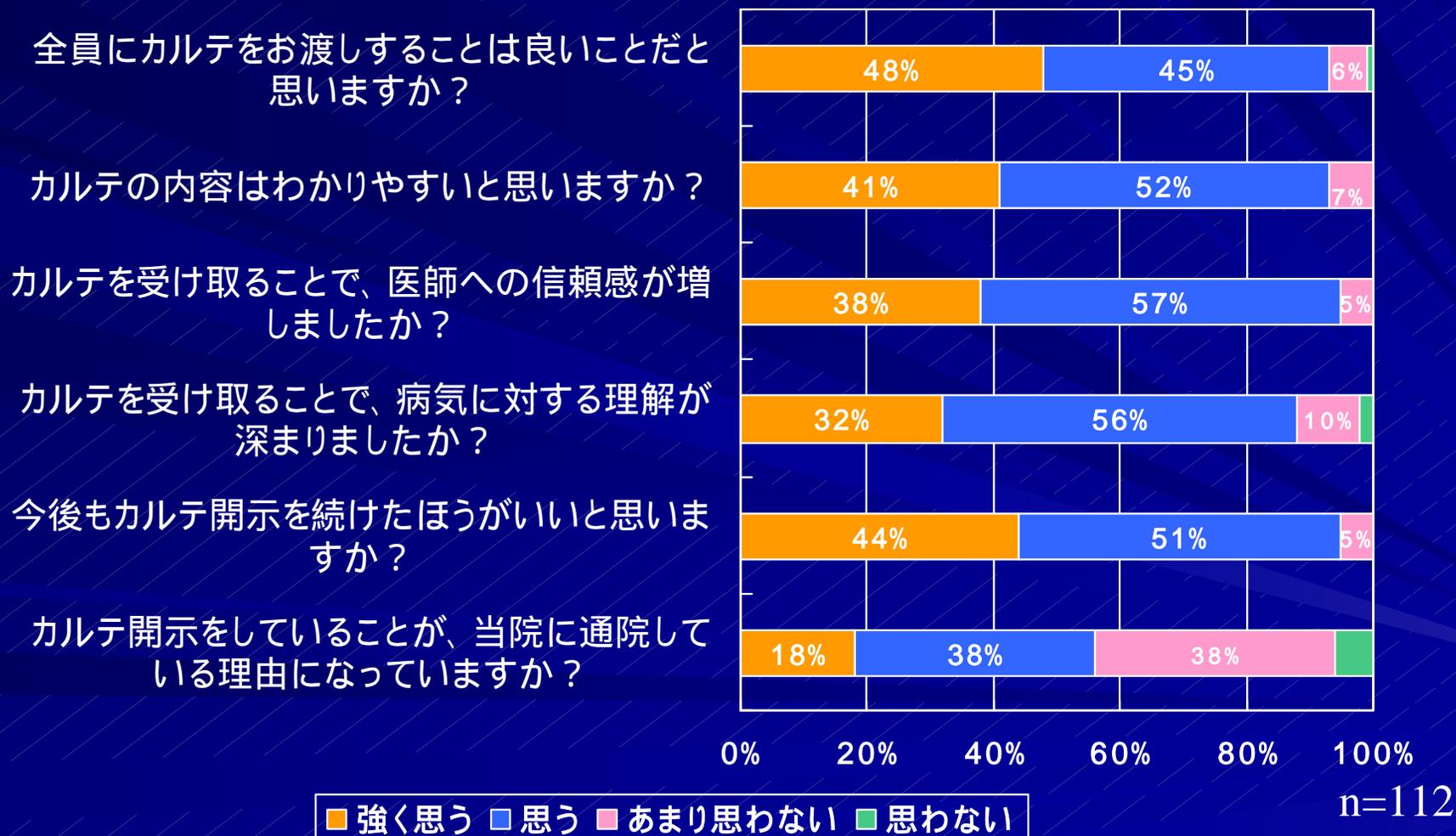
方法

- 調査方法：自己記入式無記名質問紙法
- 調査期間：03年8月18日-8月23日
- 調査対象：
 - － 上記期間の受診患者全員を対象
 - － 合計200名に達するまでの連続サンプリング
- 配布方法：受診時受付で直接配布
- 回収方法
 - 院内回収ボックス
 - 後日郵送で回収

結果 1

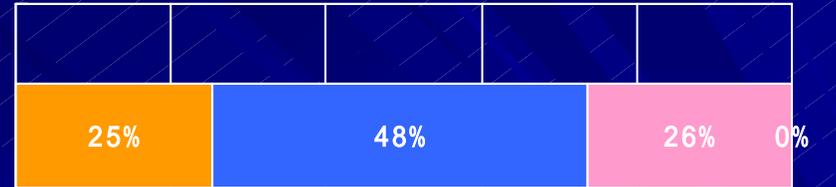
最終回答者	112名	有効回答率 56%			
年齢	10代以下 7%	20,30代 44%	40,50代 29%	60,70代 16%	80代以上 4%
通院回数	初めて 6%	年に数回 19%	月に1,2回 63%	月に3回以上 12%	
当院はかかりつけ医ですか？	はい 83%	いいえ 11%	無回答 6%		
医師に信頼感を持ちましたか？	強く思う 48%	思う 55%	あまり思わない 1%	思わない 1%	
診療に満足しましたか？	強く思う 33%	思う 64%	あまり思わない 4%	思わない 0%	

結果2：紙カルテに関して

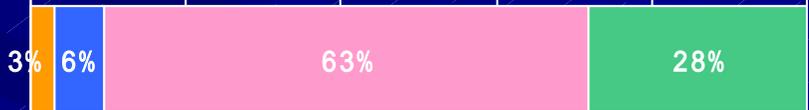


結果3 インターネットカルテに関して

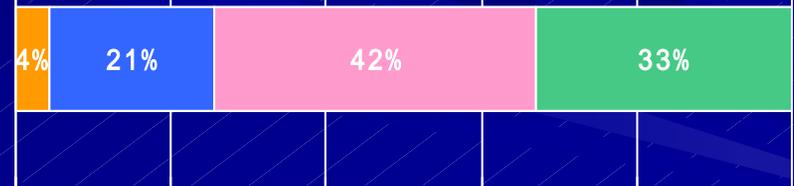
インターネットでカルテが参照できることは意味がある
ことと思いますか？



カルテは電子メディア (CD-ROM) でお渡ししたほうが便利
だと思いますか？



セキュリティ確保のためオープンカルテを有料化しても
よいと思いますか？



0% 20% 40% 60% 80% 100%

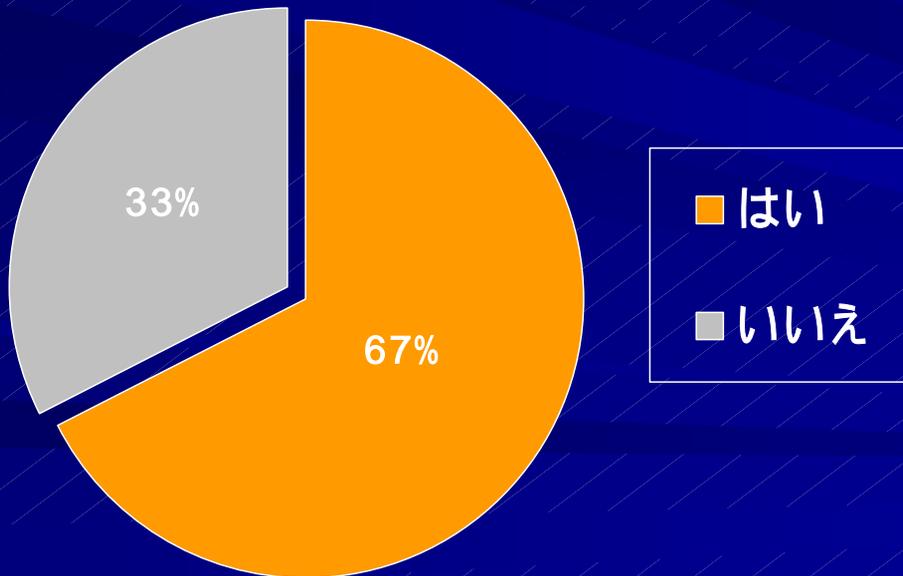
■ 強く思う ■ 思う ■ あまり思わない ■ 思わない

n=112

結果4:実際に役立ったことがあるか？

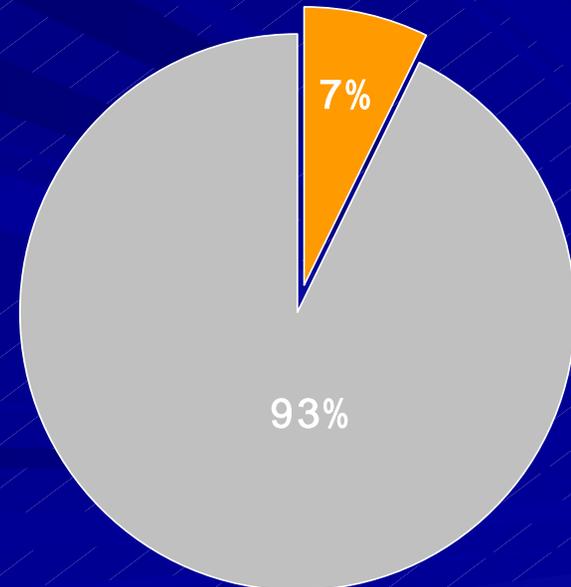
Q. お渡しした紙カルテが、実際に役立ったことがありますか？

紙カルテ n=112



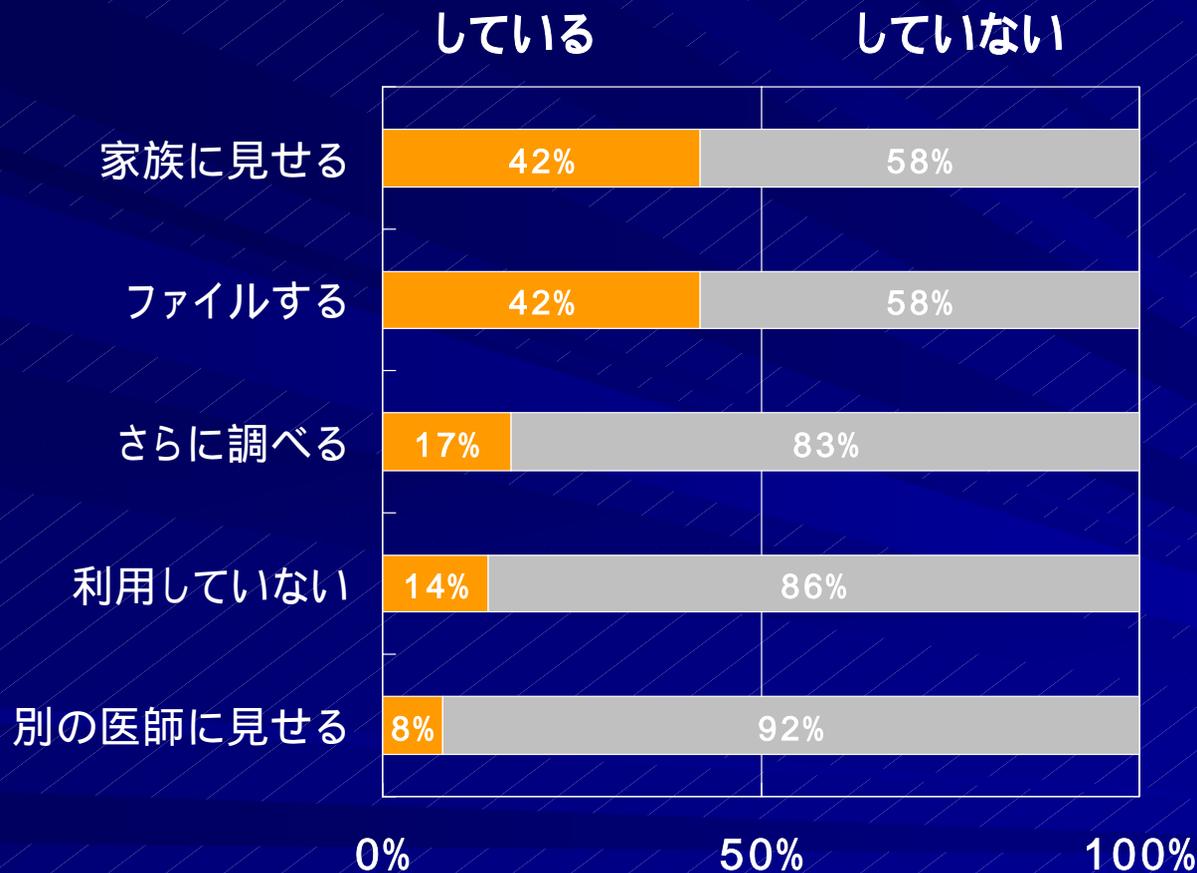
Q. インターネットでカルテが参照できることが、実際に役立ったことがありますか？

インターネットカルテ n=69



結果5 カルテの活用方法について

(n=112; 該当するものに 印、複数選択)



自由回答

• 具合が悪く不安な時に、経過を確認して、少しずつでも良くなっている事が解って安心できる

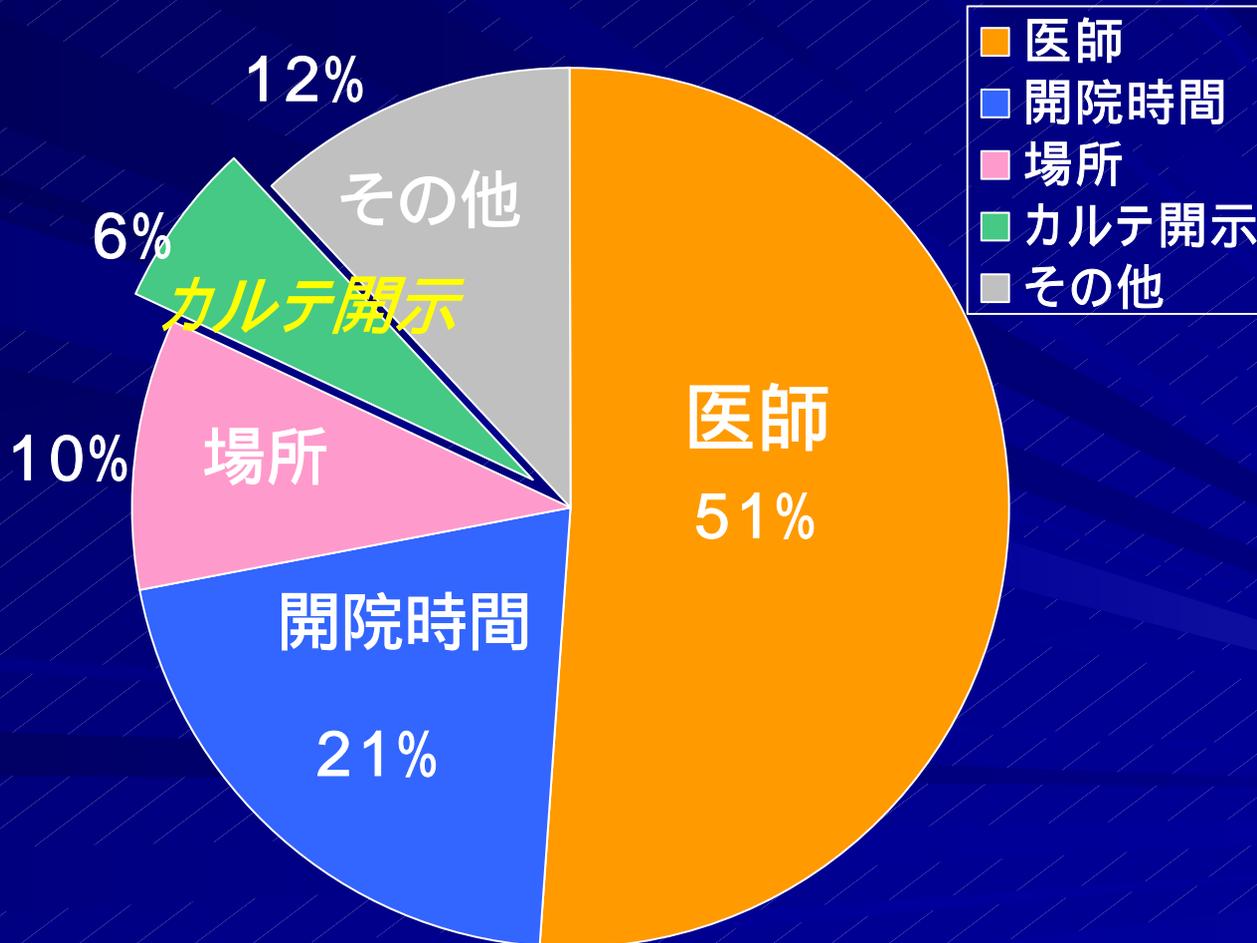
• 活用しているわけではないがみると安心する

• 自分で管理できるのが良い

• 同じような症状の時、見直したりすることがある

結果6

Q. 用賀アーバンクリニックの良いところをひとつだけお答えください。(n=112; ひとつだけ選択)



考察

■ 紙カルテの配布

- 約9割が肯定的な意見
- 「病気に対する理解」、「医師に対する信頼感」が深まる
- 67%は実際に役立ったと回答

■ インターネットカルテ

- 約7割が肯定的な意見
- 実際に役立っている人は1割に満たず、有料化には半数以上が反対

■ オープンカルテ

- カルテの全開示は支持されている
- しかし最も評価されている点ではなく、通院理由の一番でもない
- それを媒介とした患者様とのコミュニケーションがより重要

まとめ

当院のオープンカルテは、患者様に浸透しある程度利用されていることがわった。

それが具体的にどのように役立ったのか、患者-医師の信頼関係や患者様のアウトカムにどのように寄与するのかは、今後の検討課題である。